

「温暖化防止COP15ネットワーク関西」設立にご賛同を

近畿各府県で環境課題や食と安全など消費生活に係わる団体・組織との横断的な連携ができました。さらに、個人や多様な団体、地域、企業、労組など広範な参加を呼びかけています。

次世代にこの地球環境を引き継ぐためには、加速する温暖化を防止するために、世界的な取り決めを日本が実行していくために、法律の策定やクリーン産業の創出、地域型食料自給方式等様々な角度からの取り組みが必要です。

1 準備会

日 時：2月6日（金）15:00  
場 所：日本生活協同組合連合会 関西地連9階会議室（地下鉄西中島南方駅）

2 「設立の集い」と記念シンポジウム

日 時：3月7日（土）13:30  
場 所：大阪歴史博物館ホール（NHK大阪放送局隣接＝地下鉄谷町4丁目駅）  
テ ー マ：「地球温暖化と食料問題」  
基調報告：森永邦久さん（独行：農業・食品産業技術総合研究機構）  
報 告：近畿各地の農業、林業、漁業関係者から

3 地救フォーラム in 高野山

日 時：4月25,26日（土日）  
場 所：高野山大学  
内 容：[ゲストスピーチ] 海外、日本政府より  
[分科会] 気候保護法の策定にむけて 新エネルギービジョン  
宗教者のつどい 農林漁業者のつどい

大阪市ごみ減量20%削減にむけた市民協働シンポジウム

環境破壊や地球温暖化の一因である大量消費とごみに関わる問題は私達の生活そのものです。誰かの問題ではなく全ての人間の問題として参加し考えていかなければなりません。

昨年、ごみ問題に関わる市民団体や地域で活動しているごみゼロリーダー等の市民と環境事業局との協同で6回にわたるワークショップが行われ問題解決の一步となるような試みが実施されました。またその集積が提案書という形につながりました。本シンポジウムはその結果をうけ今後の展開を議論しあう場となっています。尚、この提案書は平松市長が直接受け取る予定です。

日 時：1月29日（木）13:30  
場 所：OMMビル2階4,5会議室（地下鉄・京阪天満橋駅）



買い物で地球を変える